FROM SOFTWARE

SLPS 01518
©1998 From Software Inc.
"PS" and "PlayStation" are registered trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.
WARNING: All rights reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

PlayStation

Echo Night

FROM SOFTWARE

Greeting

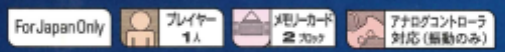
このたびは"PlayStation"専用ソフト「Echo Night」を
お買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に取り扱い方法、注意など
この解説書をよくお読みになった上で、
正しい使用方法でお楽しみください。

Contents

操作方法 ・・・・・・・・・・2
基本操作 ・・・・・・・・・・4
ゲームの進め方 ・・・・・・6
ステータス メニュー ・・・・12
設定資料 ・・・・・・・・・・16



「Echo Night」ではゲームをセーブする際に、別売のメモリーカードが必要になります。
セーブ時には、メモリーカードにある15ブロックのうち2ブロックが使用されます。
複数のデータを保存したい場合はセーブ数に対応するだけの空きブロックが必要になります。



SLPS 01518

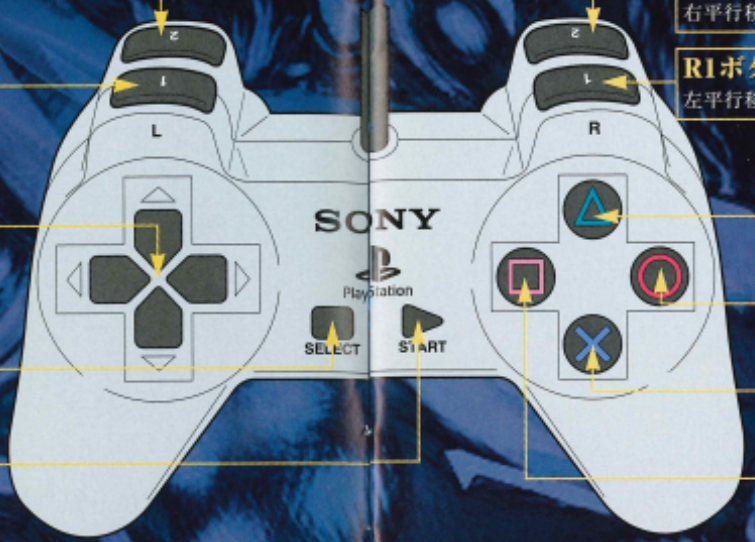
Story

1937年、アメリカ。
その日、リチャード・オズモンドのもとに
届けられた封筒はあまりにも奇妙なものだった。
差出人として彼の父の名が記されたその封筒の中には、
見覚えのない小さな鍵が一つ入っていただけだった。
手紙の類は一切無く、それが何を意味するものなのか、
彼には全く思い当たるところがなかった。

思い悩んでいた彼は、電話の鳴る音ではっと我に返った。
電話の向こうの声は警察を名乗り、父親の家が火事にあったことを告げた。
驚いた彼はあわてて身支度をすると、自らの故郷へと向かった。

その旅立ちが、後の奇妙な体験の始まりであることに、
その時の彼は気付くはずもなかった・・・。

Controller
操作方法



L2ボタン
下を向く

L1ボタン
上を向く

方向キー
上 前進
下 後退
左 左に回転
右 右に回転

SELECTボタン
メニューを開く

STARTボタン
ポーズ表示

R2ボタン
右平行移動

R1ボタン
左平行移動

△ボタン
調べる

○ボタン
行動／決定

×ボタン
取り消し／しゃがむ ※注

□ボタン
アイテム

※注
×ボタンを押し続けるとしゃがむことができます。しゃがんだまま×ボタンを押し続けると立つことができます。

ゲーム画面中でL1、L2ボタンを同時に押すと、視点が水平に戻ります。
ゲーム画面でのボタン配置は4つのパターンより選択できます。（キーコンフィグ　P14参照）

●アナログコントローラ



本ソフトは、アナログコントローラの振動機能のみ対応しています。L3、R3ボタンには対応しておりません。振動はLEDが消灯時、点灯時どちらでも作動します。また、振動のON、OFFはSystemのOptionsで設定することができます。詳しくはP15を参照してください。操作方法は、コントローラと同様です。

Operation 基本操作

ゲームの始め方 How to Start

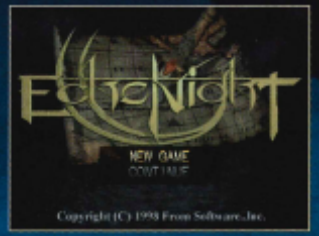
「Echo Night」のディスクをプレイステーション本体にセットし、電源スイッチを入れるとオープニングムービーが始まります。

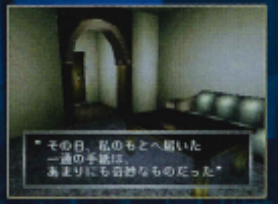
ムービー終了後、またはムービー中にSTARTボタンを押すとタイトル画面が表示されます。タイトル画面からSTARTボタンを押すとモード選択に移ります。方向キー上下でモードを選択し、STARTボタンで決定してください。

オープニングムービー

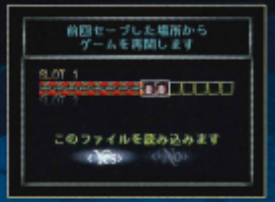


モードメニュー画面









ニューゲーム New Game

ゲームを初めてプレイするときはNEW GAMEを選択してください。ストーリームービーの後、ゲームが始まります。

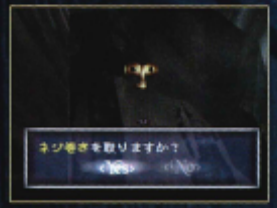
コンティニュー Continue

CONTINUEを選択すると今までセーブしておいた場所からゲームを再開できます。

ゲームタイトル画面でCONTINUEを選択するとロード画面になります。

ロード画面でロードしたいデータを方向キーで選択し、◎ボタンで決定します。

How to Play
ゲームの進め方



アイテムを拾う　Pick up Item

アイテムの前で◉ボタンを押してください。拾うことができるアイテムであれば確認のメッセージが表示されるので、拾う場合は YES 拾わない場合は NO を選択してください。

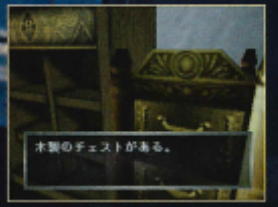


アイテムを使う　Use Item

▣ボタンを押してください。アイテムとテキストがメイン画面下に表示されます。使用したいアイテムを方向キーで表示し、◉ボタンを押してください。アイテムを使うことができます。

※ステータスメニューのItemでもアイテムを使うことができます。







アイテムを見る　Look over Item

アイテムの説明を見たいときはステータスメニューのItemで見ることができます。アイテムによっては「使う」以外のコマンドが表示される場合があります。

調べる　Research

探索していて調べたいものを見つけたとき△ボタンを押してください。ただし、対象物が点滅していないと調べることができません。また、ゲームをプレイしていると視点が固定される箇所があります。その場合、SELECTボタン、STARTボタン、L1、L2、R1、R2ボタンが使用できません。

※視点ガイドを対象物の正面に向けると点滅します。視点が固定されている場合は方向キーで対象物に視点を合わせてください。



会話 Conversation

相手の側に近づき、視点ガイドの色が変わったら◎ボタンを押してください。何回か話しかけたり、ある条件をクリアすると重要な情報やアイテムを入手することができる場合もあります。



しゃがむ Squat Down

棚の下や床にアイテムが落ちていたり、入口が低くなっている場所があります。その場合は✕ボタンを押し続けてください。しゃがむことができます。立ち上がる時は同様に✕ボタンを押し続けてください。



物を移動させる Move Object

持ち上げて移動させることのできる物（いす、脚立など）が多数存在します。移動させたい物の前で◎ボタンを押してください。対象物が持ち上がります。もう一度◎ボタンを押すと対象物を下に置くことができます。ただし、しゃがんでいる状態では物を持つことはできません。

※点滅している対象物全てが動かせるわけではありません。



移動 Move

方向キーで移動することができます。またR1、R2ボタンで平行移動ができます。ドアを開ける場合は◎ボタンを押してください。

体調の変化 Condition

ゲームをプレイしているとある特定の魂から攻撃を受けたり、憑依されることがあります。そのようにダメージを受けたときや体力回復薬を使用したときなど体調が変化した場合、ゲーム画面左上に現在の体調が表示されます。







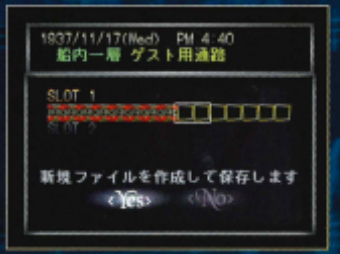
攻撃をうけた場合は体力回復薬、憑依された場合は聖水を使用してください。体調が回復します。また、憑依の状態は聖水を使用しなくても一定時間経てば回復します。

データのセーブ Data Save

ゲームを中断する場合や重要アイテムを入手したときは必要に応じてそれまでの冒険の内容を記録しておくとよいでしょう。



データのセーブは、ゲーム中に出てくるセーブポイントで行います。セーブポイントの前で◉ボタンを押すとセーブ画面が表示されます。



セーブするスロットを方向キーで選択し、◉ボタンを押してください。次にセーブしたいデータを方向キーで選択し、◉ボタンを押します。

※セーブデータひとつにつきメモリーカードに2ブロックの空きが必要になります。

Status Menu
ステータス メニュー

●Item
持っているアイテムを使用したり、調べたりすることができます。



●Map　オートマップ機能
それまで到達した場所が地図上に表示されます。
※要アイテム
（設計用紙…ゲーム序盤で入手）



●Note　ノート機能
今まで出会った人々との会話や様子を自動的に書き留めておきます。
※要アイテム
（手帳…ゲーム序盤で入手）



●System
各種機能の設定をすることができます。　(System　P14参照)





●体調
自分の体調が5段階で表示されます。

Best→	Good→	Normal→	Wound→	Danger
良好		普通		危険

●時間経過
現在までの総プレイ時間が表示されます。

●移動歩数
プレイヤーがゲーム中に移動した歩数が表示されます。

●移動評価
現段階での自分の行動評価が5段階で表示されます。

System システム

ロード Load

セーブされた場所からゲームを再開できます。ロードしたいデータを方向キーで選び、◎ボタンで決定してください。

キーコンフィグ Keyconfig

全部で4種類あります。

	エコーナイト標準	キングスフィールド標準	平行移動系標準	平行移動系特殊
方向キー 上	前進	前進	前進	前進
下	後退	後退	後退	後退
左	左に回転	左に回転	左平行移動	左平行移動
右	右に回転	右に回転	右平行移動	右平行移動
L1ボタン	上を向く	左平行移動	上を向く	左に回転
R1ボタン	左平行移動	右平行移動	左に回転	右に回転
L2ボタン	下を向く	上を向く	下を向く	上を向く
R2ボタン	右平行移動	下を向く	右に回転	下を向く
△ボタン	調べる	調べる	調べる	調べる
□ボタン	アイテム	アイテム	アイテム	アイテム
◎ボタン	行動／決定	行動／決定	行動／決定	行動／決定
×ボタン	取り消し／しゃがむ（×ボタンを押し続ける）	取り消し／しゃがむ（×ボタンを押し続ける）	取り消し／しゃがむ（×ボタンを押し続ける）	取り消し／しゃがむ（×ボタンを押し続ける）
STARTボタン	ポーズ表示	ポーズ表示	ポーズ表示	ポーズ表示
SELECTボタン	メニューを開く	メニューを開く	メニューを開く	メニューを開く

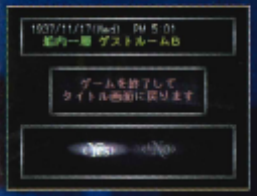
※視点変更ボタンを同時に押すと、視点が水平になります。

サウンド Sound

音量等の調整ができます。

オプション Options

歩行効果	歩行効果の有無を設定できます。Offにすると歩行時に起こる視点の上下の揺れが止まります。
カーソル位置	カーソル位置の保存の有無を設定できます。
パッド振動	デュアルショック使用時の振動の有無を設定できます。
漢字フォント	プレイ中の全文章の日本語の字体を6つの中から選べます。
英数フォント	プレイ中の全文章の英数字の字体を6つの中から選べます。
移動速度	自分の移動する速さを5段階の中から設定できます。
回転速度	自分の回転する速さを5段階の中から設定できます。
アイテム画像	アイテム使用時にゲーム画面下に表示されるアイテム画像の表示の有無を設定します。
視点ガイド	ゲーム画面中央に表示されている視点ガイドの有無を設定できます。



クイット Quit

ゲームを終了してタイトル画面に戻ります。
選択した後、確認のメッセージが表示されますので、終了するには◎ボタンを押してください。（取り消しには×ボタン）
※ここではデータのセーブが行われませんのでご注意ください。

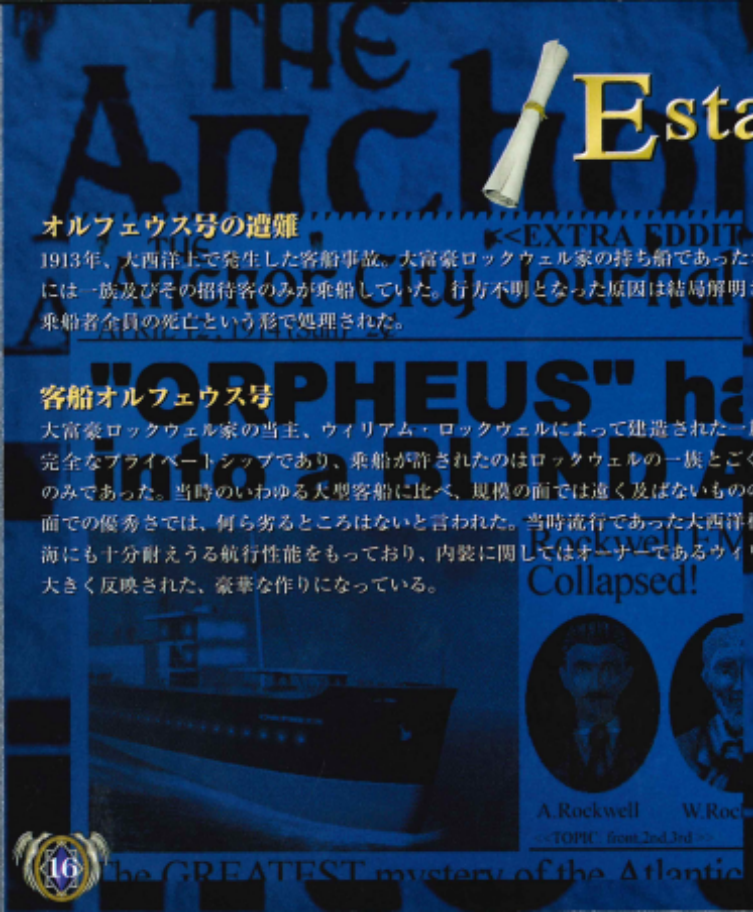
Establish Notes
設定資料

オルフェウス号の遭難

1913年、大西洋上で発生した客船事故。大富豪ロックウェル家の持ち船であったオルフェウス号には一族及びその招待客のみが乗船していた。行方不明となった原因は結局解明されず、1年後、乗船者全員の死亡という形で処理された。

客船オルフェウス号

大富豪ロックウェル家の当主、ウィリアム・ロックウェルによって建造された一族専用の客船。完全なプライベートシップであり、乗船が許されたのはロックウェルの一族とごく僅かな招待客のみであった。当時のいわゆる大型客船に比べ、規模の面では遠く及ばないものの、設備や構造面での優秀さでは、何ら劣るところはないと言われた。当時流行であった大西洋横断クラスの航海にも十分耐えうる航行性能をもっており、内装に関してはオーナーであるウィリアムの意向が大きく反映された、豪華な作りになっている。





ロックウェル家

アメリカ有数の資産を持つ大富豪。先祖はヨーロッパ貴族の家柄だったが没落し、19世紀初頭にアメリカへと移住した。移民であったロックウェル家が今日の財を築いた契機となったのは、財閥の創設者であり、現在も当主として君臨するウィリアムが若かりし頃に発見した大金脈である。莫大な資金源を手に入れたロックウェル一族は、あらゆる分野の産業に次々と着手、その全てにおいて大成功を納めた。20世紀に入り、ロックウェル家は財閥としての確固たる地位を築き上げ、政財界にも多大な影響力を持つ名門の一つとして、その名を広く知られた。



ウィリアム・ロックウェル

ロックウェル財閥の創設者にして、現在もその頂点に君臨する男。一代にして現在の富を築きあげた強腕ぶりもさることながら、その厳格な人柄から年老いた現在でも周囲から怖れられている。彼が財を成したその背景には、何か重大な秘密があるらしいのだが、その真相を知る者は誰一人いない。

Diary 回想日記

リチャード・オズモンドの回想日記

運命は確かに存在すると知ることになったあの日。

火事の連絡を受けた私は
父から送られてきた小さな鍵を持って懐かしい故郷の家に来ていた。
案内してくれた警官の話では、父は火災以来行方不明ということだった。

焼け落ちた家の中を調べるうち、父の部屋に焼けずに残った柱時計を見つける。
針は動いていなかったが、焼け跡に落ちていたネジで命を吹き込むと
その向こうに地下へと続く階段が姿を現わした。

階段で拾った父の赤い日記。
赤い日記が見せた不思議な情景。
それらが示す事柄の意味。
その時の私には全てが謎に包まれていた。

地下室には一枚の絵画が置いてあった。
描かれた絵に従って部屋の仕掛けを解いた瞬間、奇妙な感覚に捕われ
いつの間にか自分が見知らぬ船に立っていることに気がついた。

狂った運命の支配する、あの呪われた船に。

船での第一日目

沈没したはずの客船オルフェウス号。
出迎えてくれた船の船長とおぼしき人物は
実体のない黒い影だけの存在だった。

少女の魔物に襲われながら船を探索する私の目の前に、
やはり幾つかの影だけの存在が姿を現す。
それらは自らの過去に囚われ、死してなお船上をさまよう人々の落とす暗い影だった。
ある者は恐怖に、ある者は恋人への悔恨の念に。

私はそれらの一人が暗い海図室の中で闇を恐れ、光を求めているのを見た。

船具倉庫の工具。過去の世界で手に入れた手袋。
失われた配線の代わりに針金を使って
なんとか明かりを灯すことに成功し、黒い影を解放した私は
この船が呪われた悲劇の船であることを知る。

船長の影にこの船を救ってほしいと頼まれた私は手に入れた下層への鍵を使い、
多くの悲しい過去が待つ船底へと向かった。

CREDITS

Executive Producer : Naotoshi Zin
Producer & Scenario Writer : Toshifumi Nabeshima
Director & Main Programmer : Akinori Kaneko
Chief Designer : Sakumi Watanabe
Texture Coordinator : Masahiro Kajita
Programmer : Kiwamu Takahashi
Ryuji Okamura
3D Modeller : Miho Ohno
Syunsuke Katoh
Designer : Keiichiro Ogawa
CG Creator : Yasuyoshi Karasawa
Yasuhiro Kamimura
Sound Producer : Keiichiro Segawa
Music Composer : Tsukasa Saitoh
Cota Hoshino

Special Thanks to Sony Music Communications Inc.
ARTSVISION Inc.
T.Z Corporation

使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ“PlayStation”専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の“PlayStation”にのみ対応しています。海外仕様の“PlayStation”では使用できません。●「解説書」および“PlayStation”本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを“PlayStation”本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトル等が印刷されている面）を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後“PlayStation”本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房機器の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●“PlayStation”本体をスクリーン投影方式のテレビ（プロジェクション・テレビ）には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。